

第3回浦安市学校規模適正化基本方針検討委員会 議事録（要旨）

1 開催日時 令和5年8月24日（木）午前10時～11時15分

2 開催場所 庁舎10階協働会議室

3 出席者

（委員）阪本委員長、大和委員、大友委員、堀井委員、秋本委員、大木委員、内田委員、
楨委員（計8名）

（事務局等）教育総務部次長、教育政策課長、教育政策課職員

4 議題

- （1）第2回検討委員会における確認事項について
- （2）学校規模適正化基本方針改定の方向性について

5 会議経過

- （1）第2回検討委員会における確認事項について

児童生徒数の推計の資料構成に関し、いただいた意見・指摘については、これまでの市全体の総人口の議論を踏まえた上で、これまでの実数や実績を踏まえた推計値をもとに、学校の児童生徒数に特化したこと、また、現行の基本方針策定時の児童生徒数の推計値と現在の児童生徒数を比較すると、児童生徒数の在籍数の減少化が顕著にみられることから、児童生徒推計の資料を作成したことについて、説明を行った。

上記のほか、小中一貫教育制度における、近隣の各自治体で実施されている対策や効果に関する質疑内容については、素案説明時の資料により説明を行った。

- （2）学校規模適正化基本方針改定の方向性について

平成31年3月に策定した「学校規模適正化基本方針」の改定に向け、小規模校が増えつつある現状から、小規模校対策がより幅広い選択肢のもと、学校や地域の現状や特色に合った形で検討されるよう、小中一貫型小・中学校や義務教育学校への移行を手法とする新たな選択肢を加えることの説明を行った。

その後、以下の事項について、委員より意見や質疑があった。

【意見・質疑】

- 小中一貫型小・中学校や義務教育学校について、パブリックコメント等で意見を伺う際、我々は専門的に関わっているため理解できるが、一般の方は違いなどが分からないのではないかと。
- 特別支援学級は近年増加傾向にあるため、1学級として捉えるとき、規模適正化の検討を行う上では、そこを踏まえて学級数を考えていくべきではないかと。
- 小規模学校選択制度を示す表について、年度ごとに数字を入れると、推計値との比較ができるので、本制度を利用し就学した児童生徒数が入っていれば分かりやすい。

6 傍聴 2名

問い合わせ先

教育総務部教育政策課 電話 047-712-6732（直通）